

横浜市麻しん排除戦略

～横浜市から麻しんをなくそう！～

麻しん（はしか）は、麻しんウイルスによる感染症で、子どものかかる感染症の中では重いものの一つです。感染力が極めて強力で、免疫のない人が感染するとほぼ100%発病します。また、肺炎、脳炎、中耳炎、腸炎等の合併症を起こし、重症になる場合があります。

昨年春から、麻しんが全国的に流行しています。本市でも平成20年1月から3月までに、700人を超える患者が報告されています。

日本ではまだ流行の見られる麻しんも、世界的には排除が進んでいます。そこで、厚生労働省では、平成24年度までに日本において麻しんを排除することを目的に、平成19年12月28日に「麻しんに関する特定感染症予防指針」を制定しました。

これを受け、本市においても、「横浜市麻しん排除戦略」を策定し、麻しん排除に向けた対策を強化していきます。

平成20年4月
横浜市麻しん（はしか）対策連絡会

1 本市の麻しん発生状況

(1) 本市における発生状況

平成19年春の全国的な流行時には、本市においても多くの患者が発生し、幼稚園から大学まで、多くの施設で休校や学級閉鎖が行われました。

麻しん患者の全数報告が開始された平成20年1月以降、3月末までの間に、本市では700人を超える患者が報告されています。全国の報告数は約4,800であり、他都市と比較して、本市の報告数は非常に多くなっています。

(2) 麻しん患者の内訳

報告された患者の年齢を見ると、15歳をピークに、10代の患者が約半数を占めており、半数以上が予防接種未接種者です。

0歳児の報告も増加しています。20歳以上は約3割となっています。

2 本市における対策の方向性

- (1) 麻しんは、その特性から、発生してからの対応は非常に難しく、予防接種が最も有効な予防方法です。このため、麻しんに対する正しい知識の啓発及び定期予防接種対象者*への接種勧奨を確実に行っていきます。

【*定期予防接種対象者】

- ・Ⅰ期：生後12か月～24か月未満
- ・Ⅱ期：5～7歳未満で、小学校入学1年前4月1日～入学する年の3月31日
- ・Ⅲ期：中学1年生に相当する年齢の1年間（平成20～24年度の時限措置）
- ・Ⅳ期：高校3年生に相当する年齢の1年間（平成20～24年度の時限措置）

- (2) 定期予防接種対象者以外でも、10代の患者は予防接種未接種者の割合が高く、また、その世代の予防接種未接種率も高いことから、平成20年3月21日から平成21年3月31日までの緊急措置として、1歳～高校3年生までの方で、麻しんの予防接種を一度も受けておらず、麻しんに罹患していない方を対象に、市費負担での予防接種（任意接種）を実施します。

- (3) 発生時においては、特に集団生活の場で感染拡大が起こりやすいため、保育園や幼稚園、小・中・高等学校、大学等で患者が一人でも発生した場合に、速やかに対策を講じます。

3 麻しん排除に向けた目標

- (1) 第Ⅰ期～第Ⅳ期の定期予防接種について、毎年、確実に95%以上の接種率を確保します。
- (2) 平成20年3月21日から平成21年3月31日までに実施する、1歳～高校3年生までの方で予防接種未接種・未り患者への接種については、接種終了時に対象見込数の95%以上の接種率を目指します。
- (3) 国の目標で、「平成24年度までに麻しんの診断例を1年間に人口100万人当たり1例未満とする」とされていることから、横浜市における麻しん患者発生数（輸入例等を除く）を、平成24年度までに年間3人以下にすることを目標とします。

4 横浜市における麻しん排除に向けた取組

(1) 市民啓発・情報発信の強化

- 最新の発生状況を分析し、ホームページ等で公表します。【衛生研究所】
- 関係局のホームページを充実します。【こども青少年局、教育委員会、健康福祉局、衛生研究所】
 - ・麻しんをはじめとした感染症の発生状況等を分かりやすくまとめた「感染症に気をつけよう」の毎月の発行や臨時版の作成、ホームページへの公表、関係施設等への送付【衛生研究所】
 - ・市民もダウンロード可能な啓発チラシ、パンフレット類の作成及び掲載【健康福祉局】
- 海外旅行時などに現地で麻しんを発症して問題となる事例も報告されていることから、旅行代理店等でのチラシの配布、大学等における長期休暇前の啓発、海外交流・研修等を行う事業所への啓発などについて検討します。【健康福祉局】
- 情報の届きにくい外国人世帯等に対して、やさしい日本語や外国語訳のチラシを作成し、勧奨を強化します。【各区、健康福祉局】
- 本市職員や関係施設への啓発も行っていきます。【健康福祉局】

(2) 定期予防接種の勧奨

ア 定期接種第Ⅰ期対象者への接種勧奨

- 第Ⅰ期の対象者については、1歳6か月児健診時に、問診等で接種歴を確認し、未接種者に対して接種勧奨を行います。【各区、こども青少年局】

イ 定期接種第Ⅱ期対象者への接種勧奨

- 4月からの新たな第Ⅱ期対象者に対して、5月下旬に接種案内等を個別に郵送すると同時に、幼稚園及び保育園にチラシ及びポスターを配布し、接種勧奨を行います。保育園については、第Ⅰ期対象者（1歳～2歳未満）への勧奨も合わせて行います。【健康福祉局、こども青少年局】
- 10月から実施される小学校の就学時検診時に、チラシを配布し、接種勧奨を行います。【教育委員会、健康福祉局】
- 第Ⅱ期の対象者については、接種が3月末日までであることから、2月下旬に、幼稚園及び保育園にチラシ及びポスターを配布し、接種勧奨を行います。【こども青少年局、健康福祉局】

ウ 第Ⅲ期、第Ⅳ期対象者への接種勧奨

- 第Ⅲ期及び第Ⅳ期対象者に対して、3月下旬に接種案内等を個別に郵送します。また、郵送に先立ち、2月下旬に、学校を通して、事前に麻しんの啓発資料を配布します。【健康福祉局、教育委員会】
- 接種を受けやすい学校の夏休みや冬休みの前に、麻しんの注意喚起及び接種勧奨を行います。【教育委員会、健康福祉局】
- 必要に応じて、予防接種の接種状況を確認して未接種者を把握し、勧奨を行います。【教育委員会、健康福祉局】

エ 医療機関での勧奨

- 医療機関受診時や他の予防接種時に、麻しん接種の勧奨をしていただくよう、市内医療機関に依頼します。【健康福祉局】

(3) 未接種者への勧奨

ア 福祉保健センターでの未接種者への勧奨

- 3歳児健診時等に、問診等で接種歴を確認し、未接種者への接種を勧奨します。【各区、こども青少年局】

イ その他

- 入園・入所・入学時や転入時、定期健康診断実施時などの接種歴の確認及び未接種者への勧奨を強化します。【こども青少年局、教育委員会、健康福祉局】

- 麻しん予防接種の接種率が低いと思われる対象層を的確に把握し、任意接種を含めた予防接種を勧奨します。【健康福祉局】
- 大学等（特に医学系、教育系、福祉系の大学等）においても、入学時前の健診等で、予防接種歴、または、り患歴を確認するよう依頼し、未接種者未り患者への積極的な接種勧奨を求めます。【健康福祉局】
- 医療従事者や公衆衛生従事者、子どもと接する職業に従事する方、多数の人と接する職業に従事する方については、入職時の健診等で、予防接種歴、または、り患歴を確認するよう依頼し、未接種者未り患者への積極的な接種勧奨を求めます。【健康福祉局】

(4) 横浜市独自の緊急対策の実施

発症者が10代のワクチン未接種者に集中していることから、平成20年3月21日から平成21年3月31日までの間、緊急措置として、市費負担による予防接種（任意接種）を実施します。

- 接種対象…1歳～高校3年生に相当する年齢で、麻しん予防接種を受けておらず、麻しんに罹患していない方（定期予防接種対象者を除く）
- 実施期間…平成20年3月21日～平成21年3月31日まで
- 費用…接種費用の全額を市費負担

(5) 麻しん患者発生時対応

ア 学校等における麻しん対策

平成20年1月より、麻しん患者については全数の把握が可能となりましたが、発生届では調査等に必要な情報が得られないため、市内医療機関の協力のもと、患者情報を収集し、積極的疫学調査を行います。【健康福祉局】

イ 学校等における麻しん対策

市内の幼稚園、保育所及び学校等における平常時の対策、患者発生時対策について手引きを作成します。【こども青少年局、教育委員会、健康福祉局】

ウ 幼稚園、保育園及び学校等での麻しん患者発生時対応

医療機関からの情報提供を受け、幼稚園、保育園及び学校等において、1人でも麻しん患者が発生した場合は、手引きに基づき必要な調査及び指導を行います。【こども青少年局、教育委員会、健康福祉局】

エ その他

20歳以上の患者も3割と多いことから、子どもに接する職業や多数の人に接する職業に就いていないか等の調査を行い、必要な指導を行います。【健康福祉局】

5 効果の検証について

平成20年度から平成24年度まで、毎年、次のような効果検証を行い、効果を検証しながら、対策を実施していきます。

- (1) 定期接種については、毎年、4月から9月、及び前年度一年間の**予防接種率**を調査し、**未接種者に対しては、接種積極的に勧奨**を行っていきます。
(1月と翌年度7月の国の麻しん対策委員会に報告します。)
- (2) 緊急対策の実施にあたっては、あらゆる手段で未接種者を把握し、**接種勧奨**を行っていきます。
- (3) 定期予防接種の**確実な実施**や**二次感染防止対策**により、**年間の患者発生数を減ら**していきます。